

学校統合だより

(岩船・神林地区 Vol.3)

R8.2.1号

◎ 岩船中学校・神林中学校統合推進委員会【第3回・第4回・第5回】を開催いたしました。

3回の推進委員会で協議した内容についてお知らせします。

■協議の経過

令和7年9月8日から9月22日までの期間に、校名を募集した結果、応募総数は170件に達しました。統合推進委員会では、寄せられた校名を「既存の校名」「両校の名称を合わせる」「既存の校名の文字を組み合わせる」「地域イメージ」の4つの方向性に分類し、それぞれの候補を選定しました。また、統合後入学予定の小学校の児童を対象に、どの方向性が望ましいかについてアンケートを実施したところ、「地域イメージ」と「既存の校名」が特に多くの支持を集めました。統合推進委員会で、この二つの方向性から選定した校名を審議し、その結果「穂波中学校」に決定しました。

今後、この校名は市議会に上程されます。



第5回統合推進委員会 1月9日の様子

○第3回岩船中学校・神林中学校統合推進委員会
令和7年10月7日（火）

（議題）
・統合中学校名の校名について
・今後のスケジュールについて

○第4回岩船中学校・神林中学校統合推進委員会
令和7年11月11日（火）

（議題）
・統合中学校の校名について
・今後のスケジュールについて

○第5回岩船中学校・神林中学校統合推進委員会
令和8年1月9日（金）

（議題）
・統合中学校の校名について
・二校会議の運営部会・PTA部会の進捗状況報告

■校名の決定について

新中学校の名称 **穂波中学校** **（ほなみちゅうがっこう）**

裏面に、新校名「穂波（ほなみ）中学校」込められた想いを掲載しています。

☆学校統合に関する情報は市公式ホームページからご確認いただけます。

村上市 学校統合

検索

《新校名「穂波(ほなみ)中学校」に込められた想い》

岩船中学校と神林中学校の統合により誕生する新中学校の名称は、「穂波(ほなみ)中学校」に決定いたしました。

この校名は、両地域の誇りである情景を象徴するとともに、そこで学ぶ生徒たちの未来への願いが込められています。

1. 校名の由来と情景

「穂波」という言葉には、二つの地域の美しい風景が凝縮されています。

「穂」：秋になると神林地域一面に広がる、黄金色に輝く豊かな田園の稲穂。

「波」：夕日にきらめき、岩船の港や海岸線に打ち寄せる日本海の波。

村上市民憲章にも「稲穂わたる風」「夕日きらめく波」と綴られているように、私たちが誇りとする「ふるさとの情景」をそのまま校名に冠しました。

岩船地域と神林地域で培ってきた伝統や誇りを大切にしながら、地域を越えて一つになる新しい学校としての独自性を表現し、従来からある名称にはこだわらない校名としています。

2. 生徒たちへの願い

「穂波」という名には、稲穂のようにしなやかに、そして波のようにたくましく育ってほしいという願いが込められています。

稲穂の如く実り多く：豊かな自然と温かな地域コミュニティの中で、日々の学びを積み重ね、多様な価値観に触れながら、一人ひとりが豊かな人生の実りを結べるように。

大海原へ漕ぎ出す波のように：刻々と変化する時代の中でも、形を変える波のように柔軟に対応し、変化を恐れず、自らの個性を発揮して力強く未来を切り拓いていけるように。

3. 決定までのプロセスと児童アンケートの実施

新しい校名は地域の方々から公募により案をお寄せいただき、決定に至るまでの過程についてその透明性を担保し、学校統合推進委員会として説明責任を果たすことができるよう、何より主役である子どもたちの意思を尊重するため、新中学校校区内の児童を対象とした方向性に関するアンケートを実施いたしました。

統合推進委員会では真摯な議論を重ね、子どもたちの「自分たちの学校」に対する期待や想い、両地域の歴史と伝統を「穂」と「波」という文字に込めて受け継いでいく決意を固めました。両校が築いてきた伝統という土壌に、新たな「穂波」が立ち上がります。地域に愛され、生徒たちが誇りを持って通える学校づくりを、これからも共に進めてまいります。

[岩船中学校・神林中学校統合推進委員会]